

概要	質問内容	回答
管理・運営	NPOプラザと県民会館の利用について、一律ではなく差別化してほしい。	今後、管理運営計画を立てる際に検討していく。利用料は差が出る可能性がある。
	交流サロンの利用には、現在のように利用者情報の登録が必要か。	今後、管理運営方法の段階で検討していく。
	アトリエはどのような用途に使えるか。市内のアトリエがある施設では1年先まで予約が埋まっていることがあり、使いにくい。	絵画を中心とした創作の場として使用できる予定。予約システムについては今後検討していく。
	相談室は3つあるが、スタッフの配置人数の都合から現在は3つ同時に対応することはない。使用していない間の利活用を検討してほしい。	今後検討していく。
	計画案において、宮城県内のNPO支援施設への支援についての記載がない。施設内だけでなく外部に出ていく支援のあり方も明記してほしい。	
	施設内は飲食可能か。	飲食禁止にする予定はない。今後調整する。
	会議室の設計は変えずとも、2分の1、4分の1の広さに仕切れるようにして、その分利用料も減額してほしい。柔軟な会議室の利用方法を検討してほしい	
	今回の計画書にある基本方針考案の根拠は何か。	現在の指定管理運営の計画書を参考にしている。
	県民会館との共用部分について、使い方はこれから検討するのか。	使用用途や基準などについても今後検討していく。
	NPOプラザの休館日はいつか。複合施設として、休館日を一律設定するのかどうか。	現時点では未定。今後検討していく。
	スロープやブルーシートを敷くなどして車いす利用者が和室をできるようにしてほしい。	
	NPOプラザに隣接する屋外エリアの運営主体はどこか。	NPOが活用する方法で検討を進めている。
	仙台市内の人だけでなく、遠方のNPO関係者の意見を吸い上げる工夫をしてほしい。	
NPOが社会に定着してきたことから、組織支援だけでなく、NPOと他機関との協働や地域づくり支援・促進を異本計画に含めてほしい。		
設計	会議室・交流サロンの収容人数は？	会議室を分室で使用する場合、各部屋20人程度。交流サロンは椅子や机の配置を検討している段階だが、50～60人程度か。
	県民会館との共用部分が増えると、予約が取りにくくなったり、利用料が高くなったり、実質NPOが利用できるスペースは少なくなるのではないか。	NPOが使える会議室は10室程度は確保予定。
	NPOルームは個室か。仕切りがあるのか。	パーティションなどを使い空間を分けるが、空調は一つで管理する予定。
	外と1階のNPOプラザを繋ぐ窓は全面ガラス素材とあるが、空調代は大丈夫か。	日射を反射する素材にするなど工夫する。
	施設のメインエントランスと、NPOプラザの交流サロンが地続きになっているが、イベント時の人流の想定はできているか。	今後、管理運営方法の段階で検討していく。NPOプラザの利用者以外にも、交流サロンなどでのNPO活動が目に入るように動線を工夫する予定。
	外と1階のNPOプラザを繋ぐ窓はガラス素材とのことだが、耐震性は大丈夫か。	機能性を意識した素材選びを行う。
	NPOルームが県民会館の大ホールに隣接していたり、相談室が作業室の隣にあったり、騒音が心配。	大ホール、作業室の遮音については工夫する。相談室の位置は検討する。
	会議室や県民会館側を利用する場合も、車いすが通れる通路を確保してほしい。	会議室に限らず、出入口を含めた通路は全てバリアフリーにする予定。
	NPOプラザとしては何平米あるのか。	600平米。広さは今後も変更しない。
施設内の振動対策は大丈夫か。	外部の音響設計コンサル会社に依頼し、振動対策実験を行っている。今後検討していく。	

概要	質問内容	回答
設計	相談する人の中にはプライバシー保護が必要な人もいるため、交流サロンなど人流が多い場所を通らずに相談室へ来れる動線を確保してほしい。	今後検討していく。
	NPOルームが駐車場側のサブエントランスと隣接しており、NPO以外の利用者が間違えて入ってくる可能性がある。メインエントランス側から事務室を通してNPOルームに行ける設計にしているかどうか。	
	少人数で活動する市民が気軽に集まれる小さな部屋と、セミナーなどを開催できる100人規模の部屋がほしい。仙台市内にある高額な民間施設は利用できない。	
	部屋の大きさについては、曜日や時間帯ごとの利用実績データに基づいて検討してほしい。	
	共同作業室の広さはどれくらいか。	現在は76平米だが、新施設は36平米を予定。共同作業室にどの機材を入れるかは、NPOの意見を取り入れていく。
	1階のガラス面には手すりはあるのか。エントランスからNPOルームに行くまでに距離があるため移動への配慮をしてほしい。	現時点では基本設計のため、手すりなど細かい設備についてはまだ検討していない。
	会議室の数が足りないのではないのか。	設計図で余白があるように見える部分も、防火扉など建物として必要な設備で埋まっており、配置・広さは大きく変更できない。
	パーティーンだけでは防音が心配。	可動式にするなど種類を検討する。
	交流サロンの畳スペースが6畳は狭い。親子でも使えるようにするには15～20畳はほしい。	
	NPOのショップスペースはあるのか。	場所は未確定だが、メインエントランスのスペースや交流サロンの使い方を検討している。
設備	Wi-Fiはその範囲まで届くか。	全館Wi-Fiを設置予定。
	外と1階のNPOプラザを繋ぐ窓が日射を防ぐ祖沿いだとしても西日は入るため、ブラインドなどが必要ではないか。	ひさしの長さや角度などを調整する予定。
	あと4～5年は現在のNPOプラザを使うため、壊れた折り機を修繕してほしい。	予算の兼ね合いもあるため未定。
	NPOルーム（大・中・小）の仕切りはどのような仕様か。	大は天井から分け、中小はパーティーンで分けるように考えている。今後検討していくため意見を基に変更可能。
	和室には、車いす利用者や足の悪い人も使えず座椅子があると良い。	
駐車場	駐車場は250台とあるが、県民会館の大ホール・中ホールが使用される場合、NPOプラザ利用者が駐車できなくなるのではないのか。	現時点では、NPOプラザと県民会館の利用者共通の駐車場として考えている。近隣にも有料のコインパーキングがあるため利用してほしい。
	近隣のコインパーキングは楽天の球場に来る人も利用する。大きなイベントがあるとNPOプラザの利用者が使用できなくなるのではないのか。	今後検討していく。
	土日は駐車場がすぐに満車になることが想像される。その場合の対策や、タクシーを停める場所もなく不便ではないか。	
	宮城野原駅はホームが狭く、周辺で野球の試合がある日は混雑が予想される。それを踏まえて今後調整してほしい。	
	車いす専用の駐車場が5台である理由は何か。コンサートがあった場合、NPOの利用が制限されないようにしてほしい。	
	NPOプラザとしての駐車場が確保されていないのは、イベント対策ができていないのではないのか。来てからしか駐車場の空き状況が分からないのも不便。	
利用料	会議室が広いとその分利用料が高くなるのではないのか。小さな市民活動団体が使用しにくい。	予定では、県民会館と共用する会議室もあるため数は今よりも増える予定。利用料については、今後検討。
	現在のNPOプラザでは駐車料金がかからないことが集まりやすい理由の一つ。NPOプラザの利用者に対し、減免など駐車券の扱いを工夫してほしい。	
	県民会館関係者への説明会も実施したのか。	6月末に県民会館の劇場プロモーターへの説明を行った。

概要	質問内容	回答
	NPOプラザとしての情報の打ち出しが少ないのではないか。施設の一部にNPOスペースを作ったように見える。図面でもNPOプラザとしての存在発信を行うべき。	
対応	新施設が開館するのは5年後になる。今はニーズがあっても10年後、20年後にニーズが変化する可能性があることを前提に進めてほしい。	
	当日の配布資料（NPOプラザの設計図）だけでなく、複合施設全体の設計資料を配布しないのか。今後公開する予定はあるか。	紙資料として共有することは内部の都合により難しい。7月21日以降、県HPで公開する。
	2月14日に実施した意見交換会の引継ぎはされているのか。	内容は議事録で確認しており、計画案の内容にも反映させている。
	今後もこのような意見交換の場はあるのか。広報期間が短かったり、法人格を限定的であったり協働への姿勢が気になる。	開催日の広報が直前になったことは反省している。意見交換の場は、7月21日に県HPで情報公開をしてから検討していきたい。